
生き地獄

彰

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

生き地獄

【コード】

N8594D

【作者名】

彰

【あらすじ】

ある兄妹家庭の話から大人になった話です

(前書き)

簡単に纏めて仕上げました
何だこの終わりはと思うと思います。

死にたい 何度思ったことだろう

唇から血が出て左耳が聞こえなくなるまで

殴られた後、押し入れの中から声を押し殺してでも啜り泣く

妹の声が嫌でも右耳から伝わってくる

母は父の暴力に見兼ねて蹴られている時に僕達を残して

逃げて消えた……。僕達を残して

そんな母が居なくなつた家で益々父は暴れた

まるで居なくなつた母を探すように僕は耐えるしかなかった

妹を暗い押入れに押し込め父の暴行に母の裏切りに

母がいなくなつてから酒を買うのも父の鬱憤を晴らすのも

皆、僕の仕事にさせられたそれでも足りない時は何度も蹴られ

叩かれ良いサンドバックになった

歯が折れても顔が醜く青ざめて晴れていても父は僕を裸にさせ

僕の尻ケツの穴に自分の股間を押し込んだ

そうして母のいない寂しさを父は僕で紛らわせた

父はとうとう働かなくなつた手が震えていても

『酒』と言つて暴れだす、妹は裸足のまま

泣きながら飛び出した僕は只管蹴られ

叩かれそれでも少ししか開かない両目で父を見た

父は恐ろしい鬼のような顔をして僕に暴力を振るう

「助けて……」小さな声だけ虚しく部屋に響いた

其処にお巡りさんがやってきた妹は裸足で交番に駆け込んだのだ

酒に酔つっていた父はお巡りさんの前で暴れた

その場で父は後からきた数人のお巡りさんに連れて行かれた

そして、僕達は施設に入ることになった

妹は最初とても人見知りをしていた自分の部屋から

夜な夜な抜け出し僕の部屋へやってきた

其処で僕達は何度も声を殺して泣いた何で泣いたのか泣いている理由すら判断出来ずに

妹は大きくなり食品会社の工場内で働き

僕は請負会社の部品の工場で働きた

二人で狭くて古いアパートで暮らすようになり

何もかもが此れからだった時、悲劇が訪れた

そう、僕たち目の前に父が現れたのだ

父はそのアパートに居座るようにして

『よくもおまわり呼んでくれたな！』と妹を罵り

暴力を振るつた僕が止めに入っても張つた押されるだけだった

そんな父をとつとつ父が投げ飛ばしたビール瓶で父の後頭部を叩いた

即死だった・・・僕は刑務所の中で何度も母の夢を見た

何時の間にか顔が思い出せなくなっていることに気がついた

そして、小さい妹が現れて顔を隠して泣いている

其処にあの時の僕が現れる嫌でも聞こえる妹の啜り泣く声の側に行き

押入れを開ける僕、「もう大丈夫だよ居なくなったよ」泣いてる妹

を抱いて

背中を撫でてるあの時の姿の僕が夢の中に出てくる朝、天井に右手

を伸ばし

「大丈夫だよ」と呟く面接室で涙を浮かべる妹にただ「大丈夫だよ」

つて言うことしかできない

妹は自分の為に泣いているんじゃないって事ぐらい僕にもわかる

けれど、ただこの一言を妹の前で吐く以外僕には出来ない

刑務所から出て来た僕に待っていた仕事はホストだった

ただ只管酒を飲んで金の為なら下手な芝居だつて惜しまない

ホスト。金がなくなつた客には路上で平気で土下座さえさせてしま

うホスト。

そして、簡単にその客から金を作らせてしまふホスト

けれど、その中で僕は痛い思いを何度もした

ホスト達に好いように囲まれて金まで取られた

そして、お客までも

一体僕は何のために生きているんだろう？

死にたい 心の中で小さな僕が言っている

『お兄ちゃん大丈夫？』目覚めると家の玄関に僕は倒れていた妹の
声で

目覚めると玄関の時計は仕事に行く1時間前の時間になっていた

『無理しないで』仕事から帰ってきた妹が僕を不安そうに見て言う

「大丈夫だよ」僕に出来ることは妹を守る事と何をしてでも稼ぐ事だ
彼女が恋をしていい結婚するまで彼女の結婚資金だって必要だ

俺は母親みたいに裏切れない・・・

だってこの世にたった2人生まれて来た命だから

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8594d/>

生き地獄

2010年11月26日06時21分発行